

JAべっぴん日出 旬の館 石垣店 (別府市)

JAの米倉庫を改装して作られた直売所。個人客だけでなく、別府市内の飲食店などからも市場として愛されている。野菜・花・惣菜の他、郷土色あふれる弁当も大人気。温泉熱を利用した「地獄蒸しシリーズ」の食品(卵や加工品)も人気。別府市長のご家族が納める温泉バナナもここならではの人気商品。



サミット当日のスタッフ 弁当も地産地消で特注

道の駅童話の里くす (玖珠町)

大分県内でも特にブランド価値のある「玖珠米」の値段(5kgで6千円超)に参加者も驚く。椎茸の大きさとそのバリエーションにも驚き。地元産米を目玉に店内で作られた秋の行楽弁当も豊富。セミセルフレジの動きや店頭イベント出店(魚・果樹・椎茸)にも注目が集まる。



大分大山町農協 木の花ガルテン (日田市)

昼食:木の花ガルテンのランチバイキング

今村奈良臣先生が6次産業化の理論を産み出した原点の店。山あいの川に沿い直売所、梅蔵物産館、レストランが並ぶ。ランチバイキングには平日も行列する。直売所は加工品のアイテムが豊富で作り手毎に並ぶ梅干の量に圧倒される。



大皿に取り分ける方式のバイキング。野菜・きのこ・果物・甘味・梅干・汁物まで大満足。11時~19時まで営業する人気店。



梅の資料館でもある石蔵の地下で、生産者のために奮闘するJAの理念と姿勢を矢羽田参事から説明を受けた

サザンカクロス野菜館 (日出町)

量販店「トキハイナストリー」日出店の入口横の一等地に入るインショップ。ここの地場産品を覗いてから食品の買い物ははじまるような好位置にある。売り場の什器やレイアウトは、生産者で吟味を重ね、お客様が買いやすい現在の姿に。昼間のコアタイムは運営組織が直接雇用した案内人を配置し、商品の整理やお客対応にあたっている(会計は量販店集中レジで対応)。



道の駅ゆふいん (由布市)

今や世界中から観光客が押し寄せる湯布院町。大分自動車道湯布院ICのからすぐ、観光客の玄関口にある道の駅。土産物になるオリジナル商品も独自で開発中。



温泉旅館「亀の井別荘」鍵屋 (由布市)

老舗旅館の敷地内に作られた大分の特産品や工芸品などが揃うセレクトショップ。柚子胡椒や漬物などの食品から器などのクラフトまで鍵屋オリジナル商品も多数ある。



世界農業遺産 田染荘たしがのしょう・ほたるの館 (豊後高田市)

1200年以上の歴史を有する宇佐神宮の荘園であった地域。地元の人達に長く守られてきた田園風景や農業施設など国東半島一帯が世界農業遺産に認定される。交流施設「ほたるの館」で荘園米・椎茸・野菜などを食材とした田舎料理を提供している。



国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会の林浩昭会長



昼食は地区の女性達によって「荘園の恵み御膳」が提供された



JAおおいた オアシス春夏秋冬 (ひととせ) 道の駅なかつ内 (中津市)

県内でナンバー1の売り上げの直売所(出荷者約900名)。野菜や中津で作られたオリジナル商品が豊富。店内調理の「かあちゃんの店」の惣菜類も人気。市内の生産者からトラック2便で集荷し、品揃えを図る。分科会でマコポンの開発話を披露した小原頼子さんが生産者部会長。



大分の空むさし (国東市)

大分空港からすぐ隣に立地する直売所。生産者が率いており、自社でレタス、トマトや果物類の生産も行う。それらの商品加工や飲食提供も積極的に進める。水産加工品の開発なども挑戦し、量販店のインショップにも複数店を出店する。



道の駅竹田 (竹田市)

高原野菜や手づくりまんじゅうや惣菜・弁当など、ふるさとの素朴な味が人気の歴史ある店。4つの直売所・道の駅とインショップ10店を運営マネジメントし、今や地域商社として機能する「竹田市わかば公社」の本部も隣接地に構える。空き施設を活用した集出荷拠点の整備や全店舗のポスレジなどを集約し、地域としてまとまり内外に商品を販売する。



道の駅竹田の堀店長(写真上)が竹田わかば公社のエリアマネージャーとして全店の商品配送などの采配を振るう

道の駅きよかわ 清川ふるさと物産館 夢市場 (豊後大野市)

人口2千人に満たない、旧・清川村の道の駅にある直売所。ご当地の野菜、特産のクリーンピーチ(もも)、金ごま、かぼすなどの商品アイテムが豊富。生産者ごとにこだわりのある出来立て「酒まんじゅう」は大人気。華やかな装飾や掲示、商品満載の宝船や桃神社など写真映えスポットも満載、遊び心いっぱいの店。



道の駅かまえ (佐伯市)

20代の早川駅長が自ら会社を作り、道の駅の指定管理者に応募して運営。現在2期目。部門間の風通しを良くし、直売所の内装や什器、商品構成を変えてイメージを一新。セレクトショップ風の店内に地域内外から選りすぐりのこだわり商品が並ぶ。海の中をモチーフとした店内で魚のあら汁を飲み比べし、海産物を堪能できるレストランも大人気。



昼食はレストラン海鳴り亭の海鮮ランチ

かまえインターパーク

海べの市(佐伯市)

大分自動車道の蒲江ICから800mの海を臨む好立地にある直売所。地場の水産物や農産物を買って、食べられる人気店。団体客も利用しやすい。遠方からも水産物入手できるオンラインショップも充実している。



海べの市の山岡 均 店長は大分県農産物直売所ネットワークの副代表も務める

